

令和3年度 第7回 北杜市行政改革推進委員会
《議事要旨》

- 1 日 時 令和4年3月23日(水) 13:30~14:30
- 2 場 所 北杜市役所 北館 大会議室
- 3 出席者 【会 長】 小川昭二
【職務代理】 船木 良
【委 員】 藤原真史 村田俊也 矢崎憲恒
栗澤雅子 藤原真理 小宮山幸枝(敬称略)
【市役所】 市長 上村英司
副市長 小林 明
教育長 興水清司
政策秘書部長 宮川勇人 企画部長 中田治仁
健幸市民部長 八巻弥生
福祉部長 伴野法子 森林環境部長 大芝 一
産業観光部長 興水伸二 建設部長 大輪 弘
教育部長 加藤 寿 上下水道局長 浅川和也
財政課長 進藤修一 人事課長 小澤哲彦
【事務局】 政策推進課長 浅川 豪
政策推進課 計画推進担当 向井幹裕 篠原亮
- 4 欠席委員 日野水丈士委員
- 5 会議録署名 栗澤委員、藤原真史委員
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍 聴 19名
- 8 会議内容
- 1) 開会
 - 2) 会長挨拶
 - 3) 市長挨拶
 - 4) 議題報告
 - (1) 新・行政改革大綱答申案について
 - (2) その他
 - 5) 閉会

9 会議内容

- 1) 開会
- 2) 挨拶
- 3) 議事

議題（1）新・行政改革大綱答申案について

事務局から資料2「答申書（案）」、資料3「新・行政改革大綱答申案」、資料4「パブリックコメントにおける意見要旨と対応」について説明。

本答申案をもって行政改革推進委員会としての市長への答申とすることに対して了承をいただいた。

委員からの意見等については、次のとおり。

- パブリックコメント時点では、2つの計画を同時に策定する意図が浸透しきれていなかったことで一体化ということに対して誤解があったと思うので、両計画の関係について、今後運用していくなかでも丁寧に説明しながら進めていただきたい。
- これから行政改革を具体化していく中で、検討委員会等を設置する取組もある。構成メンバーについても広く多くの市民から意見を聴取できるような仕組みを期待する。
- パブリックコメントを読み、市民、委員、職員間で理解に隔たりがあると感じた。
- みんな北杜市を良くしていきたいという思いは同じなので、みんなが住みやすくなるような北杜市にしていきたい。
- 策定後は、新・行政改革大綱の基本方針をもとに改革を進め、着実に実行されていくことを期待している。

議題（2）その他

各委員から、行財政改革全般にわたり、ご意見等をいただいた。

委員からの意見については、次のとおり。

- この一年間コロナ禍で大変な中、素案をとりまとめ、また、委員の意見を丁寧に反映していただき、事務局の皆さまに感謝申し上げます。
- 今回の新・行政改革大綱は、他市や北杜市の過去の計画と比べても市民生活に直接的な影響がある項目を多く記載しており、よくここまでまとめた。
- 私たち委員は、これまでの委員会での議論を踏まえ、自信をもって新・行政改革大綱を正しい道だと判断し、了承したが、一方で、外の立場から見ると、やや悲観的なシナリオで厳しい財政見通しを根拠に、これだけの項目に取り組まなければいけないという道筋を示している。もう少し楽観的な見通しや今後状況が好転する道筋の示し方もあるが、行政改革は立場が違えば、理想とする正解がそれぞれ違うものだと思う。
- アクションプランの策定を令和4年度に着手し、アクションプランに基づいて具体的な取組を進めるわけだが、ぜひ委員や市民との対話を重視して、取り入れるべき意見、新しい状況の変化があれば即座に適切に対応していただきたい。

- 公共施設の量的な縮減を進め、行政資源を捻出しつつも、質の向上や機能向上、機能強化によって、市民の負担を最小化するように進めていただきたい。
- 本委員会に参加し、市民として知らないといけない状況を知ることができ、有意義な委員会であった。
- 今回の新・行政改革大綱は、これまでの行政改革大綱よりも、踏み込んだ方針が示されており、本市に住む市民としては苦しい取組もあるが、取り組まないとならないことである。市長をはじめ職員も辛いかもしれないが、これからの子育て世代や高齢者、みんなが住みよい北杜市を目指して進めていただきたい。
- 私の知る限り、これほど多くのパブリックコメントが寄せられた計画はなく、それだけ北杜市にはまちづくりについて関心のある市民が多いということを実感している。
- パブリックコメントの内容を見ると、公共施設の議論に集中しすぎており、本来この議論は別のところでやるべきではないかと感じたが、有意義な意見は参考にしていきたい。根本的な問題は何かを考えながら進めていくと市民の理解を得られると思う。
- 来年度のアクションプランの作成にあたっては、より具体的、より実効性のある取組を検討し、進めていただきたい。
- 今回、総合計画と行政改革大綱を一体的に運用していくという取組に初めて挑戦することになったが、せっかく高度なチャレンジをしたので、ぜひ市民の理解を得ながら取り組んでいただきたい。
- 行政改革推進委員も市役所職員もパブリックコメントを寄せていただいた多くの市民の方もより良い北杜市にしたいという思いは同じ。今後も力を合わせて進めていただきたい。
- パブリックコメントの多さに驚くとともに、市民の市政に対する関心の高さを感じた。市が抱える課題は多いが、今後も持続可能な行政運営を目指して取り組んでいただきたい。
- 新・行政改革大綱に記載されている取組を進めていかないと本市は立ち行かなくなるということを実感している。
- 行政改革の取組は、自分の家を建てることと似ている。マイホームという新しい夢に向かうために、何かを我慢したり、節約したり、貯金を切り崩したり、これは行財政運営にも言える。合併から、これまで先送りにしてきたことに対して、みんなで協力しながら取り組んでいかないといけない。
- 公共施設の削減にあたっては質的な向上を図りつつ、着実に実行していただきたい。みんなで住みよい北杜市を目指すための第一歩だと期待している。
- 民間企業でも行政であっても改革には痛みを伴うもので、改革しようという気持ちはあっても、実行しようとするのは難しい。これからの担っていく若い世代が住みやすい北杜市にするため、しっかりと道筋をつけるための新・行政改革大綱だと思っている。
- 市民、委員、行政の信頼関係があって成立するものであるので、理解を得ながら改革を進めていただきたい。
- 市においては、それぞれの委員の思いを受け止めていただき、また、市民と情報共有をしながら今後も行政改革に取り組んでいただきたい。
- 本委員会は、市が実施する行政改革を評価、後押しすることが使命であり、今後も推進していけるよう激励するとともに、ときには市民のために厳しく叱咤することも必要。新・行政

改革大綱は、端から見ると「何故そこまで」というところまで踏み込んだ内容となっている。そこまで切り込んだ大綱を私たち委員も支持したのは市長が先頭に立ち、10年20年先を見据えて本気で改革をしたいという熱意が伝わってきたからである。

- 市においては、本委員会の答申を踏まえ策定される新・行政改革大綱に沿って、まさに10年先を見据えながら市民のための市政運営が行われることに期待したい。

5) その他

- 答申案については、委員からのご意見を踏まえ、事務局にて修正等を行い、最終確認は委員長に一任とすることに了承いただいた。
- 今後は、小川会長より市長に答申いただき、最終的な新・行政改革大綱として年度内に策定を行う。

6) 閉会